

令和3年11月2日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
公衆衛生担当理事 今井 一登

季節性インフルエンザワクチンの供給について

神奈川県医師会より通知が参りましたのでお知らせします。

厚生労働省健康局健康課

季節性インフルエンザワクチンの供給について（更新情報）

標記について、今般、別添のとおり、都道府県衛生主管部（局）宛てに事務連絡を発出しました。

事 務 連 絡
令和3年10月22日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課

季節性インフルエンザワクチンの供給量について
(令和3年10月時点の最新情報)

今年度の季節性インフルエンザワクチン（以下「ワクチン」という。）の供給に関して、下記の事項を予防接種法（昭和23年法律第68号）上の実施主体である市町村（特別区を含む。）や医療機関等の貴管内関係者へ周知するとともに、ワクチンが円滑に流通されるよう、関係者との連携に努めるようお願いいたします。

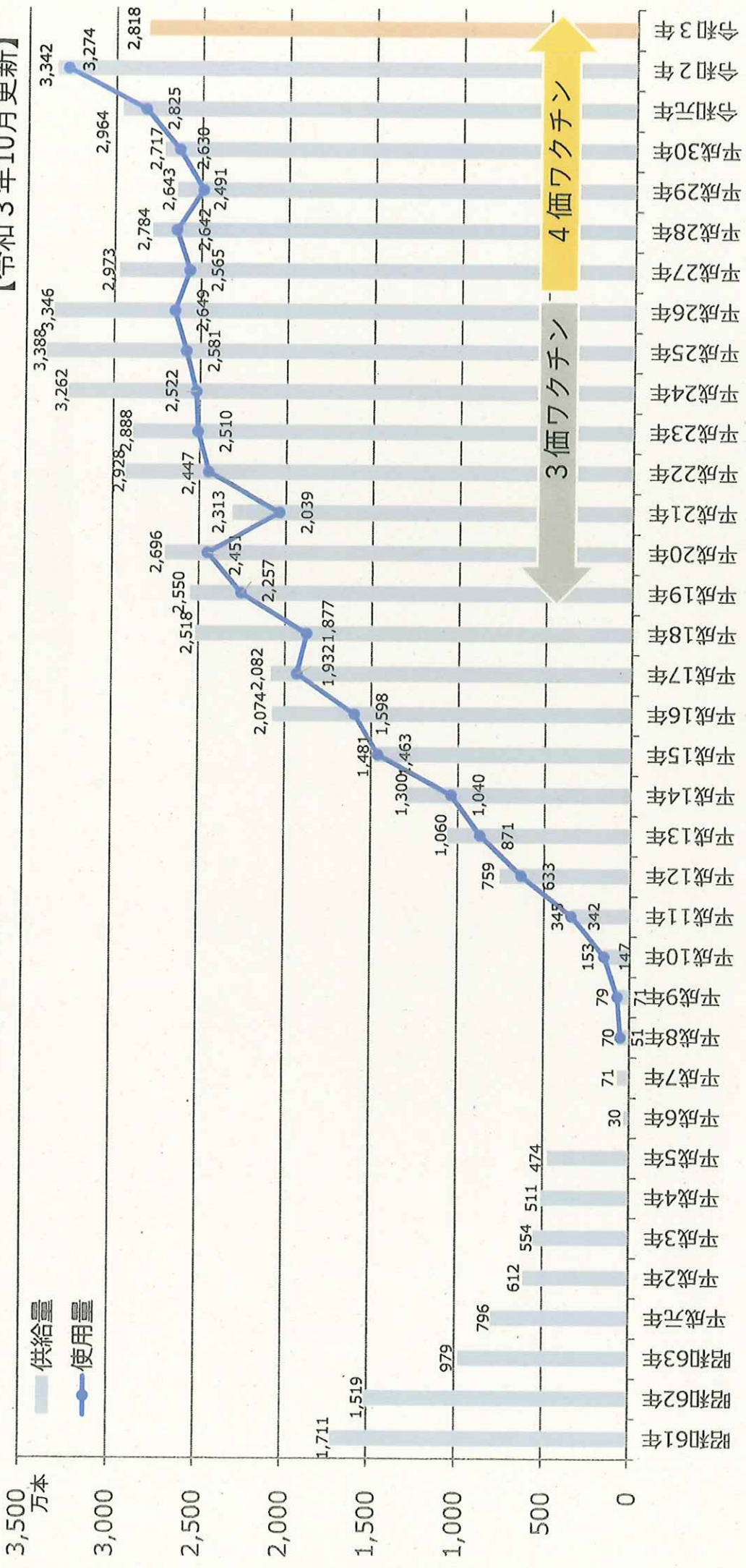
記

1. 今年度のワクチンの供給予定量について、製造販売企業から更新された情報の提供を受けたところ、令和3年10月現在の最新の供給予定量は約2,818万本（1mLを1本に換算。別紙1参照。）の見込みとなり、本年8月時点の高位推計の供給予定量（約2,792万本）より少し多い供給量です。また、供給予定量の更新に伴って、別紙2のとおり、週次の累積供給量も更新しています。
2. 「季節性インフルエンザワクチンの供給について」（令和3年9月10日付け医政経発0910第1号、健健0910第1号、健感0910第6号厚生労働省医政局経済課長、厚生労働省健康局健康課長、厚生労働省健康局結核感染症課長連名通知）を踏まえて、引き続きワクチンの安定供給にご協力をお願いします。

2021/22シーズンのインフルエンザワクチンの供給量の見込み 別紙1

- 今年度のインフルエンザワクチンは、製造効率等が特に良かった昨年度とは異なり、例年と同程度の製造効率等である。
- 平成8年以降で最大となった昨年の使用量と比較すると少ないが、例年の使用量に相当する程度は供給される見込み。

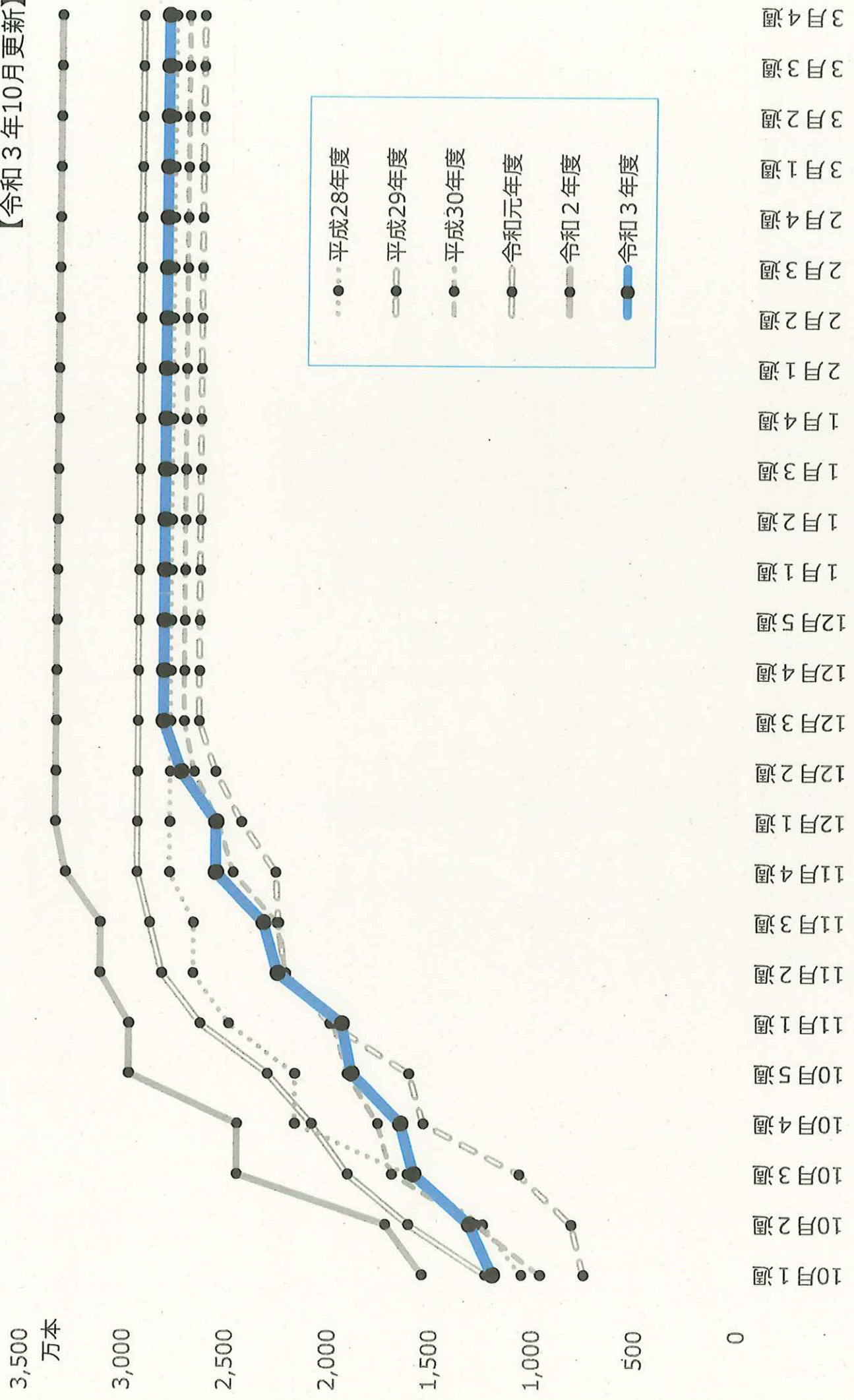
【令和3年10月更新】



※1 平成7年以前の使用量は不明 ※2 1 mL換算

2021/22シーズンにおけるインフルエンザワクチンの供給 (週次) 別紙2

【令和3年10月更新】



注1) 供給量は、いずれも1mL換算。
注2) 週の表示は金曜日を基準としている。